

「漢字は言葉よりも覚えやすい」

『漢字はかなよりもやさしい』だけではありませんでした。驚いたことには、『漢字は言葉よりも覚えやすい』ことが、その後わかったのです。それは言葉を覚えることのできない重度の脳障害児、精薄児が、漢字を理解し、覚えたことでわかりました。

“花”という漢字を見れば花を、“窓”という漢字を見れば窓を指さして、その漢字が意味する内容を理解し、覚えていることを私たちに知らせてくれたのです。その時、私たちが『よくできた。えらいねえ』と言って褒めてやりますと大層喜び、そういう学習を楽しんで反復するようになりました。

こうして、漢字を理解し、漢字を見ればその意味内容を想起する、ということを実践練習していると、やがて漢字を見ればそれを音読できるようになります。これは、頭を使う仕事が頭の働きを活発にし、発達させ、言葉を覚えることを可能にしたのだと考えられます。

足を使うことによって足が丈夫になるように、頭を使うことによって頭の働きは良くなるのです。足を使わないで足を丈夫にすることが不可

能のように、頭を使わないでいては決して頭は良くなりません。

ところが、今まで脳障害児、精薄児に対して、頭が悪いからという理由で、頭を使う仕事を極力避けるようにしてきました。これではますます頭の働きが悪くなるばかりです。足が弱い者にはできる限り足を使わせるように仕向けることが必要なように、頭の弱い子にはできる限り頭を使わせるように仕向けることが必要なのです。